

特集

但馬の未来をデザインする

TAJIMA Design

日本で最も美しい村 小代 香美町

棚田が広がる、和牛のふるさとへ

但馬の風土が育んだ文化と営み

日本の原風景が残る美しい村



日本の棚田百選に選ばれている「うへ山(貫田)の棚田」は、絶好のカメラスポット。



ミカタスノーパークのスキーゲレンデを活用した美方高原牧場。5～11月の期間、但馬牛の放牧を見学することができる。

日本の原風景が残る村

国道9号から国道482号へ南に

車を走らせると、「和牛のふるさと」として知られる香美町小代区がある。

兵庫県北部の山間部に位置する

小代は、但馬という地名の由来ともされる「谷間」を表現した典型的な

町。山々に囲まれた中央の谷筋に矢

田川が流れ、急峻な山肌を縫うよう

に棚田が広がる。昔から小さな田んぼが多かったことから、「小代」と呼ばれるようになった。

「ひとつの谷でひとつの町」という珍しい特徴を持ち、幹線道路から外れていることもあって、静かでのんびりとした雰囲気がとても印象的だ。

まさに日本の原風景を今に伝える小代。こうした豊かな自然環境が評価され、昨年10月、兵庫県下で初めて、NPO法人「日本で最も美しい村」連合への加盟が認定された。

住民主体の新しい町づくりに取り組む人々の動きを追った。

本格牛打ちそばも人気!

ふれあい温泉
おじろん
10:00～21:00(受付終了20:30)
月曜休館(祝日の場合は翌日、1～2月は無休)

四季折々の景色を楽しむのんびり時間。

香美町小代区大谷510-1 (問)0796-97-3232 <http://ojiron.jp/onsen>

the most beautiful villages in japan

兵庫県下で初の認定！
日本で最も美しい村
香美町小代

小代観光協会
兵庫県美方郡香美町小代区神水739-1
TEL.0796-97-2250
<http://www.ojirokanko.com>

小代観光協会 検索

日本で最も美しい村とは

平成17年10月、7つの村からスタートした「日本で最も美しい村」連合の取り組み。元々はフランスの活動を参考にしたので、失った一度と取り戻せない日本の農山村の景観・文化を守るために始まった。

市町村合併が進み、小さくても素晴らしい地域資源を持つ村の存続や美しい景観の保護などが難しくなっている現代、但馬でもこれまでの風景が目まぐるしく変わっている。

同連合は、小さくても輝くオンラインワンを持つ農山村が、自らの町や村に誇りを持つて自立し、将来にわたって美しい地域であり続けるためのサポート団体として設立。フランスやイタリアなどでは、ガイドブックにシンボルマークが載るほどの有名な取り組み



谷間に伸びる小代特有の田園風景(上)。毎年、6月に開催される「みかた残酷マラソン全国大会(下)」は地形を利用した過酷なコースで有名。ランナーと住民のふれあい特徴で、区民総出でもてなが行われる。

みとして認知されているそう。

現在、全国で49の町村・地域が連合に加盟し、美しい日本を未来に残そうと様々な活動を行っている。

連合に加盟するためには、3つの条件をクリアしなければならない。

1つは「人口が概ね1万人以下であること」、2つめは「景観・環境・文化の中で、2つ以上の地域資源があること」、そして最後に「評価に値する地域資源を活かす活動があること」。

5年ごとに審査があり、世界遺産に登録された岐阜県白川村や舟屋群の京都府伊根町などが加盟している。

小代は昨年3月末に加盟を申請。

その年の7月、2日間に渡って審査員への現地説明会が行われた。

「3年ほど前、小代観光協会の前会長が、大学のゼミで訪れていた先生から連合の活動を聞いたことがきっかけ。最初は加盟が認めてもらえなか、半信半疑でした」と話すのは、

「日本で最も美しい村 小代」の会長を務める藤澤昌彦さん。

「美しい村」といわれても、田舎の風景は日本のどこにでもあるもの。自慢できる資源が小代にあるのか、不安で仕方なかったという。

そこで、最初に取り組んだのが、もう一度、自分の住んでいる地域を見直

すこと。ひとつひとつ調べていく過程で、普段当たり前だと思っていたことが、実は非常に価値が高いものであることが分かった。

但馬牛改良の祖「前田周助」や、名種雄牛として知られる「田尻」はここが発祥の地。全国和牛登録協会の資料によると、全国の黒毛和種繁殖雌牛の99・9%が、「田尻」の血統に繋がることが分かっている。

険しい山々と深い谷のため、閉鎖育種となり、日本で唯一、純血が守られている但馬牛。小代では昔から家族同様に牛を育て、多頭飼育が主流となつた今でも、棚田のあぜ草を飼料にし、牛ふんたい肥を利用して循環型農業を推進している農家がある。

いつも暮らしの中に「牛」がいる生活。1頭1頭に愛情をかけて育てる風土が名和牛としての地位を築いてきたと高く評価された。

平成23年、スキー場であるミカタスノーパークのゲレンデを、オフシーズン限定で観光牧場としてオープン。訪れる人が、但馬牛を間近で見られる新たな取り組みもなされている。

牛を放牧する畜産農家のひとり、上田畜産の上田伸也さんは、「棚田を耕すための役牛として飼われたことが但馬牛の原点。棚田の草取りも

小代産・特選すっぽん料理を食す



すっぽん、チョウザメ、キャビアなど珍しい食材をふんだんに使ったお料理が楽しめます

兵庫県 但馬の料理旅館

大平山荘

〒667-1503
香美町小代区大谷 829
TEL.0796-97-2120
<http://www.ohnaru.jp>

肉のみかたや

最高級和牛・但馬牛をお手軽価格で全国へ



〒667-1511 兵庫県美方郡香美町小代区神水 738 TEL.0796-97-2500
FAX.0796-97-2530 <http://www.5nkansai.ne.jp/shop/mikataya/>



平成21年から始まった「但馬牛ゆったりウオーク」では、のんびりと自分のペースで、小代の美しい風景を堪能することができます。



■11/2(土)~11/3(日・祝) 「但馬牛ゆったりウオーク」開催

一般のウォーキングとボールを使ったノルディック・ウォーキングの同時自由歩行で行う大会。世界の名牛「但馬牛」を生んだ「ふるさと」香美町小代区内に設定されたコースは紅葉シーズンを迎える。抜群のロケーションを見せる千メートル級の山々に囲まれ、コース脇の放牧場や牛舎など、但馬牛と暮らす「原風景」を楽しみながら、ゆったりと散策することができる。

【所】兵庫県香美町小代区内（3コース×2日間）

【料】大人1,500円、中高生500円、小学生未満無料

※当日受付は300円増し（無料を除く）

※香美町民は割引あり ※レンタルボールあり

【問】但馬牛ゆったりウオーク実行委員会

（香美町小代地域局）0796-97-3111

※詳細は香美町 HP で <http://www.town.mikata-kami.lg.jp/>



全て牛が行っていた。獣害対策や草刈りなど、放牧が今また脚光を浴びている。但馬牛は、但馬の自然とは切り離せないもの。地域のPRに役立つならうれしい」と話す。

また、20周年を迎えた「みかた残酷マラソン全国大会」も評価された地域資源のひとつ。高低差400メートル、山岳地帯の地形を活かした全国でも有数のハードなマラソン大会で、昨年は2千人を超える参加があった。

集落ごとに趣向を凝らした応援、ゴールではトマトやソーメンがふるまわれ、参加選手の6割がリピーターとなるほどの人気を博す。大会前に、小中学生がランナーへ送る応援メッセージも好評だ。今では「おばあちゃんに会いにきた」という選手もいて、ぬくもりのある交流が大きな魅力となっている。区民総出で作り上げる大会は、地域の文化として定着した。

「美しい村の活動はまだ始まったばかり。行政が多い加盟団体の中にあつて、小代は住民主体の組織として注目されています。今回の認定で、区民が自分の住んでいる地域を見直すきっかけとなり、誇りを持てるようになることが重要です。この取り組みが地域づくりの羅針盤となれば、30年、40年後の未来も魅力ある美しい

村として残っていけると思います」と、藤澤会長は語った。

四季の移ろいを感じて

スタートラインに立った美しい村小代の取り組み。連合への加盟は、住民が地域に自信を持つ大きな励みとなった。委員会も組織され、公募による委員の募集も予想以上の人数が名乗りを上げたという。

「外部からのお墨付きを得たことで、区民の関心も高まっている。まずは清掃や花の植栽など、きれいな村を目指していきたい」とは、藤澤会長。

また、小代観光協会の毛戸公彦（けと きみひこ）会長は、「ガイド養成や周遊バスなど、受け入れ体制を強化していきたい。おもてなしの心が、もう一度来たいへとつながっていくはず」と話す。

風光明媚な自然が残る香美町小代区。「一番好きな所は」と聞くと、「四季折々の情景があること」と皆が口を揃えた。都会では暑いや寒いぐらいでしか四季の移ろいを感じられないが、ここでは棚田や木々の色、草花、雪景色といった自然が教えてくれる。

11月2、3日は「日本で最も美しい村 小代」を満喫できる「但馬牛ゆったりウオーク」を開催。紅葉に包まれた村を、のんびり歩いてみてほしい。

小さな負担で大きな支援

県内に住宅をお持ちの方の 住宅再建共済制度

年額 5,000 円で
最大 600 万円給付！



県内に住まいの方の 家財再建共済制度

年額 1,500 円で
最大 50 万円給付！

住宅と家財の同時加入や複数年一括支払による割引があります。詳しくは下記まで！

自然災害から「住まい」「家財」を守る



フェニックス共済は、兵庫県が条例に基づいて実施し、あらゆる自然災害から「住まい」「家財」を守る共済制度です。もしもの時のわが家の安全・安心のために、ぜひご加入ください。

※住宅のみ、または、家財のみの加入もできます。

元氣ネットワーク

【Genki-Bito】



特産の「スッポン」はカルシウムやビタミンも豊富な健康食材です。



料理旅館 大平山荘

おおなるさんそう

チョウザメ料理

本格弓道場を備えた料理旅館として知られる「大平山荘」。京都で料理修行を積んだ邊見裕作さんは父の跡を受け継ぎ、小代の特産を使った料理に力を注ぐ。名物「スッポン料理」は、女性でも食べやすいように調理し、見た目にも気を遣うなど独自のアレンジを加えている。「コラーゲンたっぷり、旨味が凝縮されたスープで頂くシメの雑炊やうどんをぜひ味わってほしい」と話す。他にも但馬牛やチョウザメ、キャビアなどの普段味わえない珍しい料理を堪能できる。

【所】香美町小代区大谷 829 【問】0796-97-2120

料理に腕を奮う店主の邊見さん

ボールを使って歩くだけなので誰でも手軽に楽しめるのが魅力！おじいちゃん、おばあちゃんから孫まで世代間の交流もできます。



小林良彦さん

●ノルディック・ウォーク OJIRO 歩牛会

「ノルディック・ウォーク」とは、2本のポール(ストック)を手に持って歩く運動のこと。手軽に全身運動ができると、今注目を集めているエクササイズだ。小林良彦(かずひと)さんは、但馬で最初に指導員の上級資格「ウォーキング・ライフ・マイスター」を取得し、「但馬全域に広めたい」と普及活動に力を入れている。老若男女問わず簡単に取り組み、姿勢がよくなると評判。高齢化が進む地域の中で、リハビリや介護予防、生活習慣病予防になればと、指導に当たっている。運動効果が高く、ダイエットにも最適なんだそう。「健康づくりと合わせ、交流のアイテムとしても活用してもらえればうれしい」と小林さんは話す。

【問】小林さん 090-1670-6034



あゆもう

●但馬牛牧場 上田畜産

繁殖から肥育まで但馬牛の一貫生産を営んでいる上田畜産。県下で最大規模の但馬牛の飼育数を誇り、優れた品質の牛を生産することで知られている。オーナーの上田伸也さんは、畜産農家の新しい形を目指して日々奮闘。「健康な牛を育てること」を信念に、牛舎内は清潔を保ち、温度管理にも気を遣うなど、牛にストレスをかけないよう心がけている。「但馬牛は脂肪があっさりしていて、くどくないのが特徴。純血を守る稀少な牛をぜひ味わってほしい」と話す。地元では道の駅村岡ファームガーデンと提携し、牛を丸々一頭卸すなどして、但馬牛の美味しさをPRしている。

【所】村岡牧場：香美町村岡区宿 548 / 小代牧場：香美町小代区貫田 755-1 【問】0796-96-1173



オーナーの上田さん



解放感たっぷりの露天風呂。



サウナも完備！！

●ふれあい温泉 おじろん

久須部川のせせらぎを聞きながら入る温泉は、温もりがぬけにくいと好評。春の桜、夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色と、露天風呂では四季折々の風景を体感できる。館内には手打ちそばや但馬牛を味わえるレストランもあり、地元グルメが楽しめる。総支配人の邊見八郎さんは、「温泉施設だけでなく、特産品などの販売を通して、小代をPRする情報発信の場所としていきたい」と話す。

【所】香美町小代区大谷 510-1 【時】10～21時(受付は20時30分まで) 【休】月曜(祝日の場合は営業) 【料】大人400円 小学生300円 5歳以下100円 【問】0796-97-3232

総支配人の邊見さん

●但馬和牛肉専門店 肉のみかたや

かつては但馬牛の繁殖農家はいても、加工品を販売する販売店がなかった小代区。これからの和牛振興のためには牛肉を販売することも大切と考えた当時の町政の勧めにより、岐阜県で4年間、牛の解体や精肉処理の技術を習得した、店主の毛戸公彦さん。地元に戻って組合に勤務した後、平成8年に独立開業した。こだわりの解体から加工まで安心・安全の一貫経営で、各部位ごとに切り分けた後、真空パックで冷蔵保存し、熟成具合を見極めてから店頭に出る。「但馬牛はきめ細かな霜降り肉で、肉の旨味が違う」と、毛戸さん。地元の人が買い求めやすい値段で提供することがモットーで、但馬牛のPRにも努めている。

【所】香美町小代区神水 738 【時】10～18時 【休】火曜 【問】0796-97-2500 ※地方発送も可能



11月開催の但馬まるごと感動市では、和山山食肉組合員として、名物「但馬牛の丸焼き」を担当。



店主の毛戸さん

日本で最も美しい村小代を盛り上げる人々

自然ゆめ探検隊

山陰海岸ジオパーク カヌー体験 (豊岡市竹野)

夢

但馬 夢テーブル委員会

愛する「ふるさと但馬」を盛り上げていきます！

Facebook「但馬夢テーブル委員会」いいね

但馬の食・農業ブランド

とよおか絆フェスタ出店 但馬牛ホルモン焼きうどん 松葉がせいすた

食・農業の活性化、但馬の食のブランド化を目指します。